

福 井 県 医 師 会

だより

第647号 平成27年(2015)5月



蔓アジサイ

福井市 竹越 忠美

表紙写真説明：蔓アジサイ

福井市 竹越 忠美

幹や枝から気根を出して高木や岩崖に付着し、絡みながら這い登り、高さ15～20mくらいになる。葉には葉柄があり、枝に対生し、形は広卵形で10cmほどに開く。花期は6～7月で小さなややクリーム色の華麗な両性花が咲き、その姿に偉大な生命力を感じる。

## 醫 縫 録

# 福井大学医学部 産科婦人科学教室のご紹介



福井大学医学部産科婦人科学教室教授 吉田好雄

福井大学医学部産科婦人科学教室の吉田好雄です。よろしくお願いたします。丸岡町の出身で、磯部小学校、丸岡中学校、藤島高校、福井医科大学（現福井大学医学部）の卒業生です。

福井大学医学部（旧福井医科大学）産科婦人科学教室の紹介をいたします。当教室は昭和56年（1981年）4月1日に開設され、初代富永敏朗教授（1981-1996）、二代目小辻文和教授（1996-2012）、そして三代目の私（2012-）と受け継がれています。当教室の特徴として、歴代教授が、教室内から選任され、30年以上にわたり、臨床・教育・研究が継続・継承されています。これこそが本教室の強みの一つであると自負しております。

当教室の教育関連施設は、北は金沢・加賀平野～福井県～京都府北部・岐阜の中核病院で10ヶ所以上に及びます。ほとんど施設の責任者は、教室の卒業生か、関連者です。関連施設間には緊密なネットワークが形成されています。このネットワークの中で、福井大学医学部産科婦人科学教室の1) 臨床、2) 教育、3) 研究が行われています。

緊密なネットワークを維持する工夫として、人事交流以外に、初代教授時代から、各関連施設間で実施された手術件数・分娩件数、そして、それらの詳細が、毎月の医局便りと共に、月間報告書という形で各医局員一人ひとりに伝達されています。伝達方法は、電子媒体以外にも、一人ひとりの医局員に、郵送でも行われています。蓄積された臨床データは20年以上に及び（例2013年度：関連施設全分娩数4046件、全手術件数2907件）、若手医局員は、この緊密な関連施設をローテートすることにより、まんべんなく様々な症例を、同じベースで系統的に学ぶことができます。それ以外にも、新年会・関連施設会議（納涼会）・忘年会、各種研修会（腫瘍研究会・生殖生物研究会・周産期検討会・内視鏡セミナーなど）を通じて各人が交流・研鑽をしています。

創立当時から教室の雰囲気はあまり変わりません。簡明に表現すると「非常に垣根の低い、機動性のある教室」だということです。垣根の低さは教室員間だけでなく、他科や他の研究室に及びます。特に格式張るのではなく、いいものはどんどん取り入れ、さらに改良し、日々の診療や研究に取り入れています。このことが地方の小さな大学と関連施設ですが、診療成績の向上や、世界に誇れる研究の成果につながっていると思っております。

「患者さん一人ひとりから教室全員で学ぶ」というのを、教室の教育理念としています。このため、教室間の連絡を密にすることを大事にしています。そのため、朝8時から「チーフ会議」を行っています。この会議は初代教授から約30年継続しています。昨日の当直帯の報告・本日の予定・

重症患者、さらに関連病院での出来事が話し合われます。病棟では、8時半、夕方5時の申し送り会議で病棟の患者さんの状態が話し合われます。

大学での診療は、複数のスタッフが「チーム」を構成し、チームが主治医となるシステムで、診療に当たっています。

### （周産期医療部門）

1) 日本周産期・新生児医学会が認定する「周産期母体・胎児専門医の基幹研修施設」です。周産期専門医が中心な診療を行っています。2) 上述の医療ネットワークの責任施設として、平成24年度から県の総合周産期母子医療センターの指定を受けています。

### （悪性腫瘍部門）

「婦人科腫瘍専門医修練施設」に認定された医療施設です。2人の婦人科腫瘍専門医と2人の細胞診専門医、4人のがん治療認定医が、チームを構成しています。

### （婦人科診療部門）

1) 良性疾患については、積極的に腹腔鏡による手術を行います。2) Conventional MethodとMeshを用いたTVM手術を組み合わせ、当院泌尿器科との連携により、性器脱&排尿障害に対して積極的な治療を実施しています。

### （不妊・不育医療部門）

日本生殖医学会生殖医療専門医が中心になり、体外受精や顕微授精、凍結・融解胚移植などの高度生殖医療も積極的に行っています。

福井大学産科婦人科学教室員は、福井県とその周辺の産婦人科診療を背負うという使命感のもと大学病院を中心に各関連施設で活躍しており、後進の指導に当たっています。

当教室では女性医師の割合は全医局員中約35%で、その中で約40%の女性医師が出産・育児中か、経験者です。福井県は全国一、二位の共働き県として、教室自体が女性医師の就労に関し、自然な対応ができるようになっております。当教室では全員の女性医師が現役で働いております。大学と主な関連施設では、幼児保育が可能な施設もあり、子育てをしながら仕事を継続するのも可能です。また、ライフスタイルに合わせた仕事の仕方も関連施設内では可能になっております。大学病院には附属のシュミレーションセンターが新設され、産休後の復職の際に様々な手技を研修するのに便利を図っています。

どうぞこれからも、医師会の先生方においては、当教室にご理解を頂き、ご支援いただきますようお願いいたします。